

① 輸送の安全に関する基本的な方針（安全方針）

有限会社 光交通

安全方針

1. 輸送の安全の確保が全てにおいて最優先します。
2. 関係法令・規則を遵守し、安全第一に向けて職務を遂行します。
3. 人身事故の絶滅や人命を尊重し、安全運転に勤めます。
4. 運輸安全マネジメントを確実に実行し、社員一丸となって運行業務の遂行を図り、輸送の安全の向上に努めます。
5. 健康管理の取り組みを必ず推進します。

〈運輸安全マネジメントとは〉

- | | |
|----------------|--------------------|
| ①安全方針の策定・周知 | ④事故・ヒヤリハット情報の収集・活用 |
| ②安全重点施策の策定、見直し | ⑤教育・訓練の実施 |
| ③コミュニケーションの確保 | ⑥内部監査の実施 等 |

代表取締役社長 安東良夫

② 輸送の安全に関する目標（安全目標）及び目標の達成状況

令和 6 年度安全目標

- ・ 交通事故ゼロ
- ・ 交通違反ゼロ
- ・ 飲酒運転ゼロ
- ・ 体調管理の徹底

令和 7 年 3 月 3 1 日令和 6 年度安全目標達成済み

令和 7 年度安全目標

- ・ 交通事故ゼロ

- ・ 交通違反ゼロ
- ・ 飲酒運転ゼロ
- ・ 体調管理の徹底

③ 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

令和6年度実績 0件

令和7年度目標 0件

④ 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

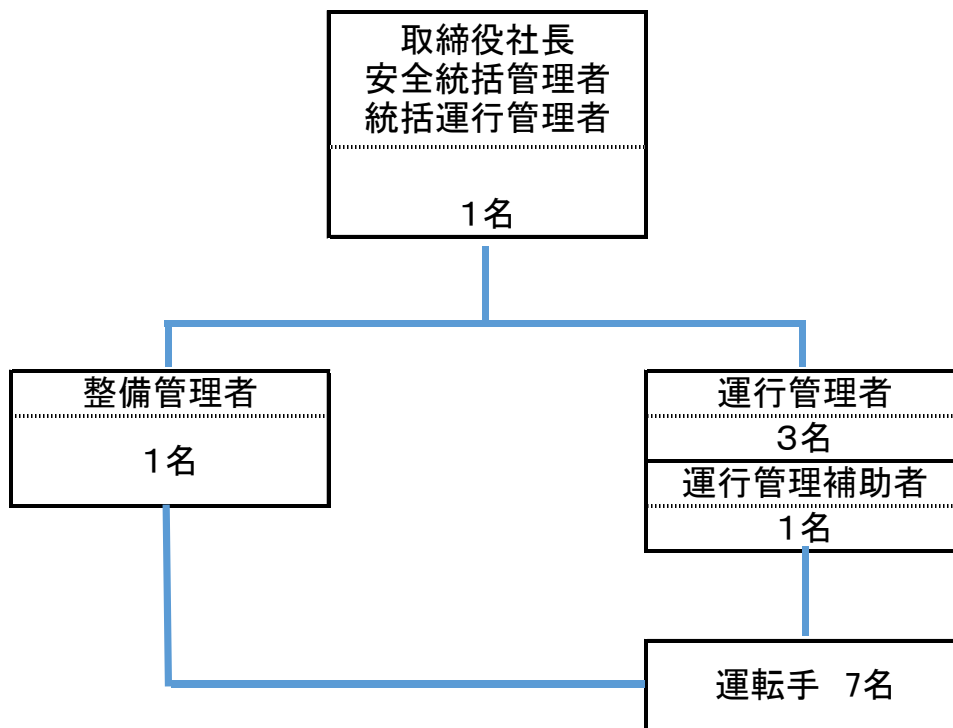
- ・ 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、社長以下全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
- ・ 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規定に定められた事項を遵守します。
- ・ 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- ・ 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を講じます。
- ・ 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施します。

⑤ 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

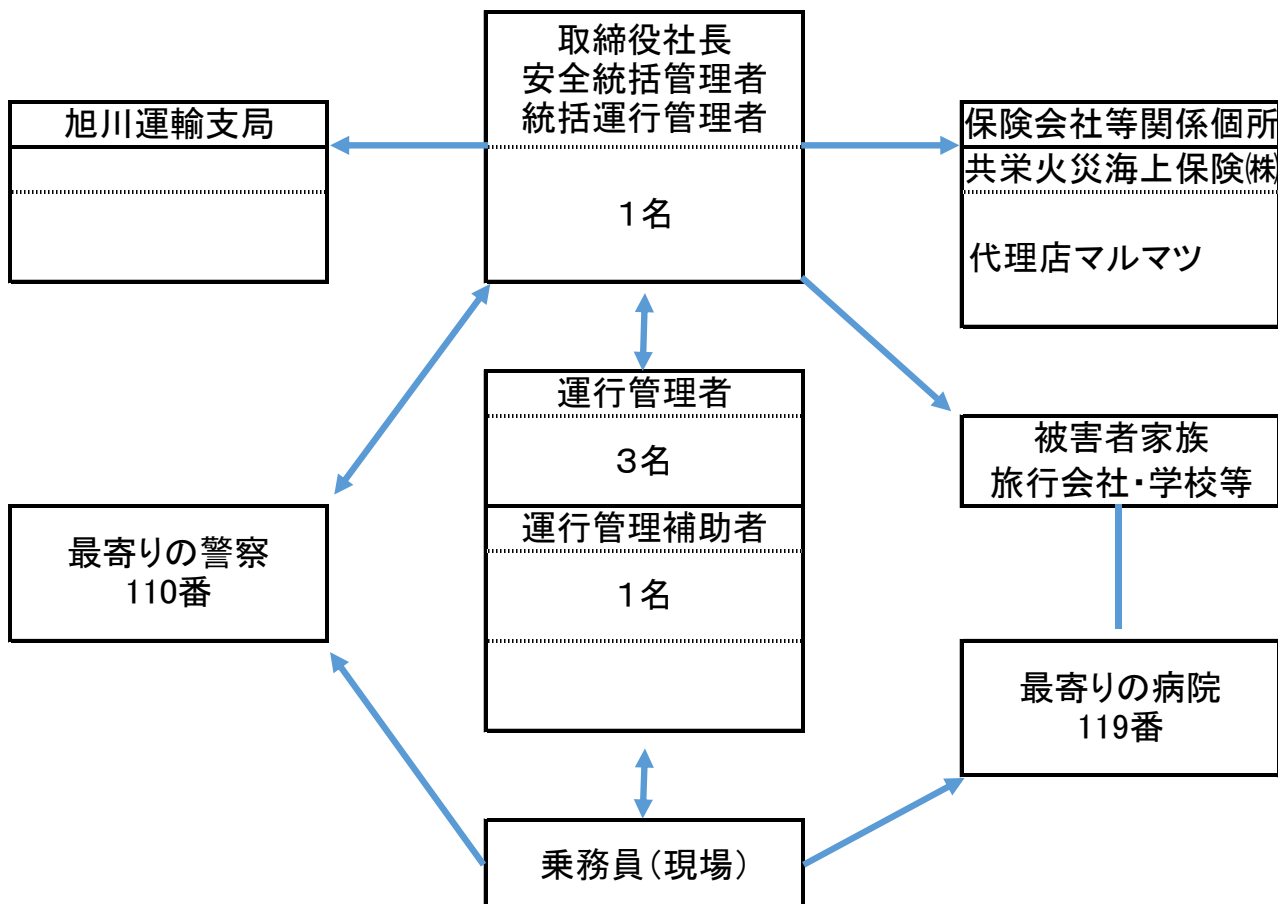
有限会社 光交通

2025年4月1日

業務組織図



事故発生時の連絡体制図



⑥ 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

運 転 者 指 導 教 育 計 画 表

	全 体 教 育	予定
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業用自動車を運転する場合の心構え ・ 事業用自動車による交通事故原因などを統計資料を基に説明して理解させる ・ 春の交通安全運動 	1日
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 ・ 日常点検不備による事故や、交通事故による事業者・運転順守の重要性などを理解させる 	1日
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導 	1日
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項 ・ 乗降口の扉を開閉する装置の不適切な操作により旅客が挟まれたなどの交通事故の事例を説明する、また、道路状況に応じ旅客の安全を確保するよう指導する ・ 夏の交通安全運動 	1日
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主として運航する路線もしくは経路または営業区域における道路交通の状況 ・ 運転者に道路状況などを確認し他の運転者に申し送り等を行い、把握させる ・ 朝夕の渋滞状況を把握し、安全運転に努めるよう指導する 	1日
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 ・ 秋の交通安全運動 	1日
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転車の運転適性に応じた安全運転 ・ 適性診断その他の方法により運転者の適性を把握する 	1日
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因並びにこれらへの対処方法 ・ 強風、豪雪等の悪天候が運転に与える影響への理解・危険予測、回避のため指差し呼称を行う習慣を体得させる ・ 事故発生時、災害発生時その他緊急時における対応方法について事例を説明する 	1日
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理の重要性 ・ 心理的な負担の程度を把握するための検査結果等に基づいて心身の健康管理を行うことの重要性を理解させる ・ 年末年始の輸送などに関する安全総点検 	1日
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業用自動車の構造上の特性 ・ 自らが運転する車の制動性能などを確認させ、構造上の特性が車両によって異なることを理解させる ・ ASV車両の適切な運転方法を理解させる。 	1日
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導 ・ 適切な車間距離を保った運転 ・ 危険性の再認識 ・ 個々の運転者の不安全な運転特性の是正 ・ 運行経路内において実際に生じたヒヤリ・ハット体験を社内に掲示して共有させる ・ ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有 	1日
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 ・ シートベルトの着用を徹底させる 	1日

安全運転の実技指導

実施日程	入社後、運転者として選任される前に運転時間20時間以上実施。
ルート	旭川空港、旭川駅、新千歳空港、その他、貸切バスとして訪問機会が多い道内の各所。
車種区分	大型バス
実技指導内容	安全な運転を最優先に、各操作、安全確認、スムーズな運転の指導をする。
添乗者指導歴	指導員 A 20年 指導員 B 18年 指導員 C 23年 指導員 D 25年

⑦ 輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

令和8年3月に内部監査を実施しました。その結果安全管理体制の有効性及び適合性について適正であることを確認いたしました。今後も継続して安全管理体制を維持し、常に安全に対する努力を続けることといたします。

⑧ 安全管理規定

安全管理規程

<安全マネジメント>

有限会社 光交通

令和5年4月1日

安全統括管理者

目次

第一章 総則

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

第一章 総則

(目的)

第一条 この規程（以下「本規程」という。）は、道路運送法（以下「法」という。）第二十二
条の二の規定に基づき、輸送の安全を確保するために遵守すべき事項を定め、もって輸送の安
全性の向上を図ることを目的とする。

(適用範囲)

第二条 本規程は、当社の乗合バス及び貸切バス事業に係る業務活動に適用する。

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等

(輸送の安全に関する基本的な方針)

第三条 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸
送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾
けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるとい
う意識を徹底させる。

2 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act）を確実に実施

し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

(輸送の安全に関する重点施策)

第四条 前条の輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施する。

- 一 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
 - 二 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。
 - 三 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。
 - 四 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。
 - 五 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施すること。
- 2 社長以下全社員が一丸となって輸送の安全性の向上に努める。

(輸送の安全に関する目標)

第五条 第三条に掲げる方針に基づき、目標を策定する。

(輸送の安全に関する計画)

第六条 前条に掲げる目標を達成し、輸送の安全に関する重点施策に応じて、輸送の安全を確保するために必要な計画を作成する。

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

(社長等の責務)

第七条 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を有する。

- 2 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、予算の確保、体制の構築等必要な措置を講じる。
- 3 経営トップは、輸送の安全の確保に関し、安全統括管理者の意見を尊重する。
- 4 経営トップは、輸送の安全を確保するための業務の実施及び管理の状況が適切かどうかを常に確認し、必要な改善を行う。

(社内組織)

第八条 次に掲げる者を選任し、輸送の安全の確保について責任ある体制を構築し、輸送の安全を確保するための企業統治を適確に行う。

- 一 安全統括管理者
 - 二 運行管理者
 - 三 整備管理者
 - 四 その他必要な責任者
- 2 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統については、安全統括管理者が病気等を理由に不在である場合や重大な事故、災害等に対応する場合も含め、別に定める組織図による（別紙参照）。

(安全統括管理者の選任及び解任)

第九条 取締役のうち、旅客自動車運送事業運輸規則第四十七条の五に規定する要件を満たす者

の中から安全統括管理者を選任する。

2 安全統括管理者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、当該管理者を解任する。

一 国土交通大臣の解任命令が出されたとき。

二 身体の故障その他のやむを得ない事由により職務を引き続き行うことが困難になったとき。

三 関係法令等の違反又は輸送の安全の確保の状況に関する確認を怠る等により、安全統括管理者がその職務を引き続き行うことが輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(安全統括管理者の責務)

第十条 安全統括管理者は、次に掲げる責務を有する。

一 全社員に対し、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底すること。

二 輸送の安全の確保に関し、その実施及び管理の体制を確立、維持すること。

三 輸送の安全に関する方針、重点施策、目標及び計画を誠実に実施すること。

四 輸送の安全に関する報告連絡体制を構築し、社員に対し周知を図ること。

五 輸送の安全の確保の状況について、定期的に、かつ必要に応じて、随時、内部監査を行い、経営トップに報告すること。

六 経営トップ等に対し、輸送の安全の確保に関し、必要な改善に関する意見を述べる等必要な改善の措置を講じること。

七 運行管理が適正に行われるよう、運行管理者を統括管理すること。

- 八 整備管理が適正に行われるよう、整備管理者を統括管理すること。
- 九 輸送の安全を確保するため、社員に対して必要な教育又は研修を行うこと。
- 十 その他の輸送の安全の確保に関する統括管理を行うこと。

第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

(輸送の安全に関する重点施策の実施)

第十一条 輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、輸送の安全に関する目標を達成すべく、輸送の安全に関する計画に従い、輸送の安全に関する重点施策を着実に実施する。

(輸送の安全に関する情報の共有及び伝達)

第十二条 経営トップと現場や運行管理者と運転者等との双方向の意思疎通を十分に行うことにより、輸送の安全に関する情報が適時適切に社内において伝達され、共有されるように努める。また、安全性を損なうような事態を発見した場合には、看過したり、隠蔽したりせず、直ちに関係者に伝え、適切な対処策を講じる。

(事故、災害等に関する報告連絡体制)

第十三条 事故、災害等が発生した場合における当該事故、災害等に関する報告連絡体制は別に定めるところによる（別紙参照）。

2 事故、災害等に関する報告が、安全統括管理者、経営トップ又は社内の必要な部局等に速やかに伝達されるように努める。

3 安全統括管理者は、社内において報告連絡体制の周知を図るとともに、第一項の報告連絡体制が十分に機能し、事故、災害等が発生した後の対応が円滑に進むよう必要な指示等を行う。

4 自動車事故報告規則（昭和二十六年運輸省令第百四号）に定める事故、災害等があった場合は、報告規則の規定に基づき、国土交通大臣へ必要な報告又は届出を行う。

（輸送の安全に関する教育及び研修）

第十四条 第五条の輸送の安全に関する目標を達成するため、必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、着実に実施する。

（輸送の安全に関する内部監査）

第十五条 安全統括管理者は、自ら又は安全統括管理者が指名する者を実施責任者として、安全管理の実施状況等を点検するため、少なくとも一年に一回以上、適切な時期を定めて輸送の安全に関する内部監査を実施する。

また、重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合その他特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全に関する内部監査を実施する。

2 安全統括管理者は、前項の内部監査が終了した場合はその結果を、改善すべき事項が認められた場合はその内容を、速やかに、経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のために必要な方策を検討し、必要に応じ、当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。

（輸送の安全に関する業務の改善）

第十六条 安全統括管理者から事故、災害等に関する報告又は前条の内部監査の結果や改善すべき事項の報告があった場合若しくは輸送の安全の確保のために必要と認める場合には、輸送の安全の確保のために必要な改善に関する方策を検討し、是正措置又は予防措置を講じる。

2 悪質な法令違反等により重大事故を起こした場合は、安全対策全般又は必要な事項において現在よりも更に高度の安全の確保のための措置を講じる。

(情報の公開)

第十七条 輸送の安全に関する基本的な方針、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況、

自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計、安全管理規程、輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置、輸送の安全に係る情報の伝達体制及びその他の組織体制、輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況、輸送の安全に関する内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置、安全統括管理者に係る情報について、毎事業度の経過後百日以内に外部に対し公表する。

2 当社の一般貸切旅客自動車運送事業については前項に加え、事業用自動車の運転者、運行管理者、整備管理者、事業用自動車に係る情報を、国土交通大臣に対して電磁気的方法により報告を行うとともに、国で公表される報告事項のほかに利用者にとって有用であると考えられる情報についても積極的に、同じく外部に対し公表する。

2 事故発生後における再発防止策等、行政処分後に輸送の安全の確保のために講じた改善状況について国土交通省に報告した場合には、速やかに外部に対し公表する。

(輸送の安全に関する記録の管理等)

第十八条 本規程は、業務の実態に応じ、定期的に及び適時適切に見直しを行う。

2 輸送の安全に関する事業運営上の方針の作成に当たっての会議の議事録、報告連絡体制、事故、災害等の報告、安全統括管理者の指示、内部監査の結果、経営トップに報告した是正措置又は予防措置等を記録し、これを適切に保存する。

3 前項に掲げる情報その他の輸送の安全に関する情報に関する記録及び保存の方法は別に定める(別紙参照)。

附 則（実施の時期）

1、本規定は、令和5年4月1日から実施する

⑨ 安全統括管理者

有限会社光交通 取締役社長

安東 良夫